

母子相互作用の臨床的・実験的研究

二 木 武 (都立母子保健院)

1. 母子相互作用の実験的研究 その2

二 木 武
吉 田 弘 道
河 野 洋 二 郎
帆 足 英 一

はじめに

著者らは、前回、乳児の保育者に対する追視行動を、乳児と保育者のアタッチメントの形成という観点から検討した。

今回は、追視行動の基本となる乳児の他者への凝視と、また、凝視と表裏の関係にある目をそらすという行動について実験的に観察し、これらの行動が乳児の認知の発達や母子関係の形成に果たす機能について考察した。

方 法

1. 対象児

乳児院に入院中の健康な乳児13名(男児8名、女児5名、生後2カ月～5カ月児)。

2. 手続き

実験室のベッド上のベビーチェアに対象児をすわらせる。次に、女性の実験者が実験室に入室し、対象児に、接近、身体に接触、後退、退室という一定の手順を4回ないし5回繰り返した。このときの対象児の視線、表情の変化等の行動観察をビデオを用いて行い、同時に心拍、呼吸曲線、筋電図等の生理的反応の測定も行った。

結 果

1. 凝視と心拍数との関連性

乳児が実験者を見つめ、目があつた状態のとき、心拍数の減少反応が生じた(図1)。

また、乳児が実験者と目と目があつているときといないときとで乳児の心拍数の平均値を比較したところ、目のあつているときの値が有意($R-R$ インターバルの平均値で $P < .01$ の有意差)に低いという結果が得られた(図2)。

さらに、乳児は、心拍数が比較的低い状態にあるときに凝視が生じやすく、逆に心拍数が高いと、目をそらしている状態の多いことを示唆する結果も得られた(図3)。

2. 目そらしと心拍数との関連性

目そらしの生じた瞬間の心拍数の変化について検討したが、目そらしの生じる直前の乳児の状態や心拍数の高さ、凝視時間の長さとの間に一定の傾向は認められなかった。しかし、目そらしが生じたときの心拍数の変化を四つのパターンに整理することができたので図示した(図4)。

考 察

乳児の事物、人を見つめる行動は、乳児が外界の刺激、情報を取り入れ、同化し、認知の発達へと結びつける上で基礎となる注意行動の一つであるといわれている。また、注意行動にもなつて心拍数の減少反応が生じることから、心拍数の減少を注意の構成要素の一つとみなして、乳児の注意についての研究が行われている。本研究においても、乳児の凝視にもなつて心拍数の減少反応が生後2カ月児からみられた。さらに、凝視が続いている間は心拍数が比較的低いことも確認された。

みつめの中でも目と目のみつめあい、対人関係においては、相互交渉を行う上で重要なノンバーバルコミュニケーションの手段となる。とりわけ運動能力が限られ、また言葉を話すことができない乳児にとって目と目のみつめあいは、母親とのアタッチメントを形成する上で欠くことのできないシグナル行動としての機能をもっていると考えられている。本研究においても、目と目のみつめあいが生じた瞬間に心拍数は減少し、乳児はみつめあいに続いて微笑を返すことも観察された。

一方、乳児のみつめることをやめる行動、目そらしについては、そらしている間に興奮をやわらげる¹⁾、緊張を解きほぐす²⁾、みつめている間に取り入れた情報を内的に処理する^{1,3)}など、目そらし

の機能について幾つかの解釈がなされているが、
いまだ未知の部分が残されている。

乳児のみつめる、そらすという行動についてほ
かには、乳児期初期から乳児にみつめる—そらす
というサイクルが存在することを指摘し、母子の
相互作用、母親の乳児のサイクルに対する同調性
といった面から着目した研究もある。¹⁾⁴⁾

本研究では、目そらしと心拍数との間に一定の
傾向は認められなかったものの、目をそらしてい
るときの心拍数の平均値は、目と目のみつめあい
が生じているときの値よりも高い。心拍数が高い
と目と目のみつめあいは減少し、目そらしが多
くなる。という傾向がみられた。これらの結果は、
目そらしの生起と乳児の興奮あるいは覚醒水準
(arousal level)の高さとの間に関連性のあ
ることを示唆するものと思われる。興奮をやわら
げる、あるいは覚醒水準の高さを調節するという
目そらしの機能に着目するならば、図4の模式図
に示した心拍数の変化のタイプの中でタイプAと
Bの型がみられた目そらしに、この機能の存在を
予想できるであろう。現段階では、乳児の目そら
しの、覚醒水準の調節という機能の可能性を指摘
するにとどめたい。

乳児は、自己の覚醒水準を調節しながら外界と
かかわり、情報を取り入れ、認知の発達を続ける。
また乳児の自己調節に加え、母親が適切な態度で
乳児とかかわることも乳児の覚醒水準の調節に大
きな役割を果たすと同時に、母子関係を深めるこ
とになると考えられる。

このような考え方については、まだ未知なる部
分が多いが、今後、実験方法、分析方法について
さらに検討を加えながら研究を続けていくつもり
である。

参 考 文 献

1. Brazelton, T.B., Koslowski, B., & Main, M.: The origins of reciprocity: The early mother-infant interaction. In M. Lewis & L.A. Rosenblume (Eds), The effect of the infant on its caregiver. New York: John Wiley and Sons, 1974. (cited from 4)
2. Sroufe, L.A. & Waters, E.: Heart rate as a convergent meager in clinical and developmental research. Merrill-Palmer Quarterly, 1977, 23, 3-25.
3. Field, T.: Visual and cardiac responses to animate and inanimate faces by young term and preterm infants. Child Development, 1979, 50, 188-194.
4. Field, T.M.: Infant gaze aversion and heart rate during face-to-face interactions. 1981, 4, 307-315.

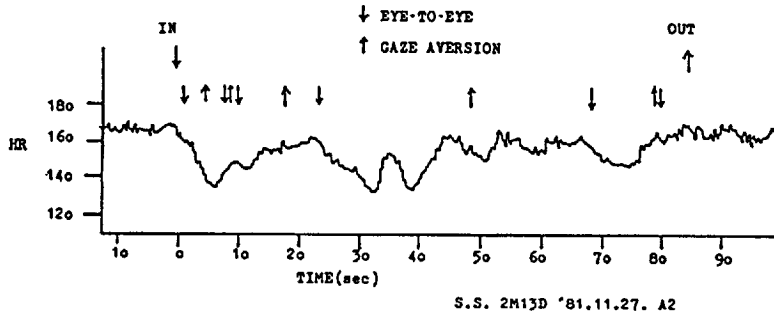


図1 目と目のみつめあいと心拍数との関連性
(実験者の入室から退室までの1例)

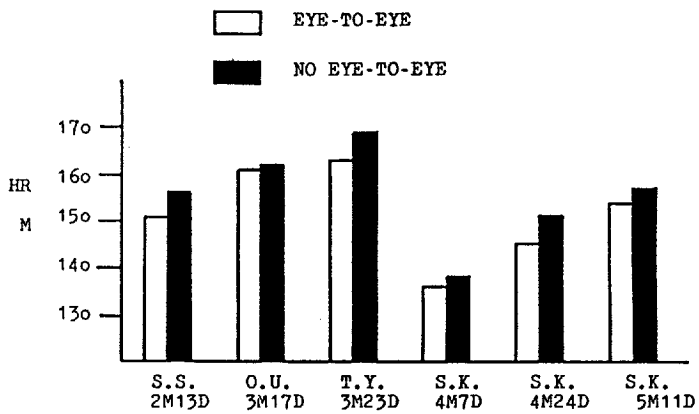


図2 目と目のみつめあいの状態のときと、みつめていないときの心拍数の平均(6例について)

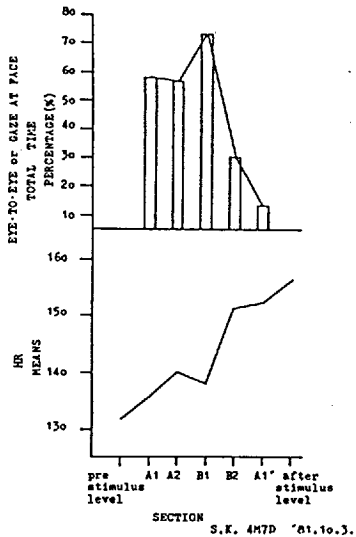


図3 凝視時間の割合と心拍数との関係

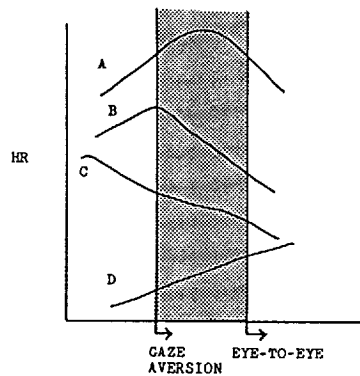


図4 目そらし時の心拍数の変化パターン、模式図

2. 妊娠期の母子関係

—文章完成法 (SCT-PKS) による考察—

二 木 武 吉 田 弘 道
川 井 尚 恒 次 欽 也
斉 藤 晃 河 野 洋 二 郎
庄 司 順 一

はじめに

妊娠に気づいた時から、その人はその事実をどのような形であれ意識せざるを得ないし、母体と胎児との間には生理的な相互性が生じるだけでなく、心理学的レベルでの関係性がはじまると考えられる。

そしてこの妊娠期の関係性の様相と出生後の母子関係の発達とが1つの連続性をもつであろうと考えることができる。

この全体的なつながりを知るには、縦断的な研究が必要であり、現在追跡研究中であるが、ここでは上記の観点にたつて、妊娠期の母子関係に焦点をあて、胎児への意識、心的態度と、それに効果を与えるであろう、妊婦自身の母子、父子関係、女性性、夫との関係等、後述する領域をねらってこれらを明らかにする試みを行なった。

結 果

得られた結果は以下の通りである。

1. 母親と胎児との関係

1) 妊娠期の母子関係

Item② はじめて妊娠に気がついたとき

- Rej + Fail
- うれしかった、よろこんだ、幸せ
- とまどい、ショック、おどろき、信じられない
- うれしい+不安、複雑な気持ち
- 不安
- まさか
- 複雑な気持ち、悩んだ
- 不思議、実感がわかない
- ほしくなかった、暗たんたる気持ち。• いやだ、困った、失敗した。• 早すぎた、自由でなくなる。
- おろそうかと思った。

Item④ おなかが大きくなってくると

- Rej + Fail
- おっくう、動きにくい、不活発、辛い、疲れる
- 母となる実感、自覚
- 赤ちゃんの存在感
- 見苦しい、みっともない

これは、通常の胎児への意識、心的態度の様相とその変化を知ると同時に、妊婦自身の妊娠中から出産後の精神的な問題と乳児をめぐっての臨床的な問題への援助につながるものと考えられる。

方 法

上記の目的を達成するための心理面接の補助手段として文章完成法テスト (SCT-PKS) を作成した。各文章項目とねらいの領域は結果の表の通りである。

資料の収集と整理方法

マタニティスクール受講妊婦600名に配布し、会場で記載させ回収した。回収率は73.9%であり、妊娠前期52名、中期124名、後期72名、不明(予定日記載もれ)187名計435名である。なお、95.9%が初産であった。

データの整理は、各文章項目について、反応をそのまま転記し、グルーピングを行ない、原意を損わない形の表現にまとめた。

結果の表にはその反応頻度の比較的高いものと、臨床上意味があると思われるものを記載する。

%	妊 娠 期			
	前	中	後	?
1.4	5.8	0	0	1.6
35.0	38.5	28.7	40.8	37.0
11.8	9.6	11.5	16.9	10.6
9.4	13.5	9.0	8.5	9.0
6.5	7.7	8.2	1.4	6.9
4.4	1.9	7.3	4.2	3.7
2.8	1.9	1.6	2.8	3.7
2.8	3.8	4.9	1.4	1.6

%	前	中	後	?
	1.8	2.0	0	1.3
34.0	29.4	33.3	40.8	32.6
17.7	15.7	17.9	19.7	17.1
8.7	5.8	11.4	7.9	8.0
3.7	5.9	4.9	3.9	2.1

・恥ずかしい

3.4	5.9	3.3	2.6	3.2
-----	-----	-----	-----	-----

・こわいような感じ。・周りの人にわかってしまう。・産むことを観念せざるを得ない。

Item⑥ 出産

・Rej + Fail

・不安, 心配, 恐い

・不安+気にしない, ガンバル, どうにかなる, うれしい, 楽しみ, 期待 (不安+うれしい, 楽しみ, 期待 = 10.4%)

・女性としての一大事業, 大仕事 (→6.3%), 女性としてのよろこび, 一人前になる

・いやなもの。・女が動物となる行為であまりうれしくない。

Item⑫ 妊娠して私が変わったことは

・Rej + Fail

・食事等々の摂生

・性格が変わった(+)

・特にない

・性格が変わった(-), 不安定, 怒りっぽくなった

・母性の自覚

・周囲の子どもに目がいく

・母親の実感

・お腹の子どもに目がいく, 関心がいく

・半ばあきらめた。・子ども嫌いが充じて, 子どもを愛せるだろうか。

Item⑳ 私はおなかの赤ちゃんに対して

・Rej + Fail

・健康であってほしい, 無事に生まれてほしい

・よく話しかける

・愛情を感じる, 楽しみにしている

・不安と期待

・良い母親になろうと思う

・実感がない

・早く出てこい。・いまだにとまどいを。

2) 将来の母子関係

Item㉑ 私は子どもと

内 容

・Rej + Fail

・友だちみたいになりたい (14.5), きょうだいのようにありたい

・遊びたい, 遊ぶのが楽しみ

・一緒に成長したい

・話し合いたい

・仲よくない, 遊ぶのは嫌い, うまくやっけていけるか心配,

・自覚がない

Item㉓ 子どもを育てることは

・Rej + Fail

・大変むずかしい

%	前	中	後	?
3.2	3.8	0	2.8	5.4
21.6	13.5	20.5	23.9	23.7
15.5	9.6	18.0	22.5	12.9
10.4	17.2	9.0	5.6	10.8

%	前	中	後	?
5.5	5.8	4.8	4.2	6.3
17.6	32.7	14.5	15.3	16.4
12.8	5.8	10.5	15.3	15.5
10.5	3.8	14.5	11.1	9.5
7.3	7.7	7.3	8.3	6.9
5.0	3.8	5.6	5.6	4.8
4.6	1.9	4.8	5.6	4.8
3.9	3.8	2.4	5.6	4.2
1.1	0	0	2.8	1.6

%	前	中	後	?
14.4	11.5	12.2	8.5	19.3
22.6	26.9	26.0	25.4	18.2
13.0	3.8	14.6	18.3	12.8
8.3	5.8	8.9	12.7	7.0
4.8	5.8	6.5	4.2	3.7
3.0	7.7	1.6	5.6	1.6
2.3	1.9	2.4	1.4	2.7

%	前	中	後	?
10.1	5.5	7.6	7.1	4.1
15.7	18.2	17.8	12.9	14.7
12.2	7.3	12.7	15.7	12.0
10.8	14.5	8.5	20.0	7.9
7.8	1.8	8.5	8.6	8.9
3.7	5.5	3.4	1.4	4.2

%	前	中	後	?
2.3	0	1.6	1.5	3.7
36.8	26.0	34.4	40.3	39.9

- ・大変+楽しみ(大切, やりがい, 一生懸命)
- ・不安

12.6	28.0	14.8	11.9	7.4
2.3	6.0	3.3	1.5	1.1

- ・自分の母子関係からみて不安。・好きでない, 楽しいとはいいい難い。・どうしていいかわからない。

Item⑰ 生まれてくる子が男の子だったら

- ・Rej + Fail

- ・育ての願望, のびのび, たくましく, 優しく, 責任感, 男らしい, 元気な

- ・うれしい, 幸せ

- ・がっかり

- ・育てづらい, 手がかかる, 大変, 恐いかんじ

- ・夫2人になるような気分。

Item⑱ 生まれてくる子が女の子だったら

- ・Rej + Fail

- ・女の子らしい子に育てたい(かわいい, やさしい)

- ・うれしい

- ・イヤ, 期待はずれ, 次は男の子がいい

- ・私に似ないで。・子どもに執着しちゃう。

Item⑲ 私の子どもはきっと

- ・Rej + Fail

- ・(1)かわいい, 頭がいい, すなお, よい子

- ・(2)おとなしい, やさしい, すなお, 明るい, たくましい, 強い, のんびり, しっかりしている

- ・(1)+(2)

- ・元気, やんちゃ, 活発, 丈夫, 健康, おてんば

- ・恥ずかしがりや, 内気, 神経質, 泣き虫

- ・育てにくいだろう。・どうしようもないのができるだろう。・とまどうでしょう。

Item⑳ 赤ちゃんにとって大切なことは

- ・Rej + Fail

- ・愛情, あたたかい心

- ・良い環境

- ・仲の良い家庭, 夫婦

Item㉑ 子どもが泣きやまないと

- ・Rej + Fail

- ・心配, 不安, ウロウロ, 困る

- ・悲しい, 一緒に泣く

- ・なぜ泣くか調べる, 考える

- ・ヒステリー, イライラ, ノイローゼ, 腹が立つ

- ・きっと何か押込んで虐待してしまう。

2. 父親と胎児との関係

Item㉒ 赤ちゃんが生まれるときいて夫は,

- ・Rej + Fail

- ・よろこんだ, うれしそう「やった, やった」

%	前	中	後	?
6.7	2.0	5.7	9.9	7.4
26.5	31.4	28.5	21.1	27.5
13.6	23.5	13.8	12.7	10.6
4.4	5.9	4.1	8.5	2.6
4.2	2.0	5.7	1.4	4.8

%	前	中	後	?
13.1	10.9	13.5	8.7	15.1
28.9	25.5	27.0	36.2	28.5
17.0	12.7	19.0	17.4	17.2
3.7	5.5	4.8	2.9	2.7

妊 娠 期

%	前	中	後	?
13.5	11.8	8.9	12.5	17.5
25.5	13.7	32.5	25.0	21.9
10.5	17.6	10.7	13.9	7.1
36.0	31.4	43.1	37.5	29.0
14.5	11.8	13.0	13.9	16.9
1.6	2.0	0	2.8	2.2

妊 娠 期

%	前	中	後	?
15.8	12.7	17.1	9.9	18.0
30.1	30.9	32.5	32.4	27.5
20.3	23.6	19.5	19.7	20.1
7.1	5.5	7.3	8.5	6.9

%	前	中	後	?
1.4	0	0	2.8	2.1
58.6	66.0	59.5	63.9	54.5

- ・おどろき(6.7), とまどい, 複雑
- ・内心は喜んでいるよう
- ・よろこび+おどろき, とまどい, 不安

9.7	3.8	9.9	11.1	10.7
5.1	7.5	4.1	5.6	4.8
3.7	5.7	4.1	1.4	4.8

- ・喜こんだが私はいやだった。・実感がないよう, 他人ごとみたい。・がっかり。

Item⑳ 夫はおなかの赤ちゃんに対して

- ・Rej + Fail
- ・やさしい, 愛情をもつ
- ・話しかける
- ・楽しみ, 期待
- ・関心がある
- ・実感がない, わかない
- ・関心がない, 無頓着
- ・不安, 心配している。

%	前	中	後	?
9.7	7.4	7.4	12.5	10.6
13.6	7.4	15.6	12.5	14.4
10.3	5.6	8.2	9.7	12.2
9.4	5.6	11.5	11.1	8.5
8.5	9.3	9.0	12.5	6.4
5.5	3.7	6.6	6.9	4.8
2.3	0	1.6	1.4	3.7
3.0	11.1	3.3	0	4.2

3. 夫婦関係

Item㉑ 夫と私は

内 容

- ・Rej + Fail
- ・愛しあっている, 仲がよい, 幸せ, 気があう
- ・子どもについて⊕(生まれることを希望)

%	前	中	後	?
6.1	5.7	4.8	4.3	7.8
28.9	32.1	29.8	37.1	24.4
21.6	17.0	19.4	21.4	24.4

- ・父母になることは不安。・親になる自覚がない。・まだほしくなかった。・仲が悪い, 気が合わない。

Item㉒ 私が妊娠して夫のか変わったことは

- ・Rej + Fail
- ・いたわってくれるようになった, やさしくなった, 手伝ってくれるようになった
- ・とくにない
- ・身体に気をつかってくれる
- ・しっかりしてきた, 責任感が出てきた, 自覚も
- ・精神的にまいっている。

%	前	中	後	?
10.6	6.7	9.2	6.9	14.0
45.6	60.0	43.7	45.8	42.5
20.0	6.7	22.7	26.4	19.9
8.9	11.7	10.9	6.9	7.5
3.7	5.0	1.7	5.6	3.8

Item㉓ 私たちの結婚生活は

- ・Rej + Fail
- ・幸せ, 楽しい, 円満, 仲良い
- ・(1)まずまず, まあまあ, 平凡, 一般的
- ・(2)順調, 平和, おだやか
- ・安定しない。・これでいいのか。

%	前	中	後	?
12.6	9.6	12.1	7.0	16.0
42.8	46.2	40.3	54.9	38.8
10.6	7.7	11.3	9.9	11.2
5.1	9.6	0.8	5.6	6.4

Item㉔ 夫にのぞむことは

- ・Rej + Fail
- ・育児に協力を
- ・健康でいてほしい
- ・今のままでいてほしい
- ・子どもにとって～という父親になってほしい
(良きパパ, 愛情, 対話)

%	前	中	後	?
5.7	5.8	3.2	4.2	8.0
14.5	15.4	14.5	23.6	10.7
12.2	19.2	10.5	15.3	10.2
12.0	13.5	13.7	9.7	11.2
11.0	9.6	7.3	15.3	12.3

4. 母親自身

- 1) 過去, 現在, 将来及び情緒状態

Item① 私は子どもの頃

- Rej + Fail
- 元気, 活発, おてんば, いたずらした, 遊んだ, 明るい, ほがらか, ガキ大将
- おとなしかった, 一人遊び, 手がかからない, 目立たない, 無口
- 内気, 人見知り, 泣き虫, 恐がり, はずかしがり
- おとなになるのがいやだった。・悲しく, 淋しい記憶が多い。

%	前	中	後	?
3.9	4.0	0.8	1.4	7.1
34.0	36.0	37.7	36.6	29.9
12.6	12.0	15.6	12.7	10.9
9.8	14.0	9.0	5.6	10.9

Item⑭ 私が泣きたくなるのは

- Rej + Fail
- 夫とのかかわりで(病氣, けんか, 出張)
- ない
- 情緒的なとき(悲しい, 不安, 淋しい, くやしい)
- このままでよいのか(自己嫌悪, 生き方, 自信喪失)
- 子どもがうまく育てられない, 赤ちゃんが泣いたとき
- 全く何でもないとき。・自分の身体が自分でわからないとき。・私に似た子が産れたら。

%	前	中	後	?
16.6	17.6	12.3	18.1	18.9
13.4	7.8	16.4	15.3	12.1
9.4	17.6	9.8	4.2	8.9
9.0	3.9	8.2	16.7	7.9
3.4	0	4.1	4.2	3.7
2.8	3.9	1.6	2.8	3.2

Item⑯ 心配なことは

- Rej + Fail
- 子どもが五体満足か
- 無事出産するか
- 特にない
- 子どもを育てられるか(育児のこと)
- 自分が未熟なこと。・相談できる人が近くにいない。

妊 娠 期				
%	前	中	後	?
7.8	5.9	4.8	7.0	10.6
39.8	40.4	41.9	42.3	37.2
12.2	9.6	15.3	8.5	12.2
11.3	7.7	10.5	14.1	11.7
4.8	3.8	4.8	4.2	5.3

Item⑳ 私は今

- Rej + Fail
- 幸せ, 心安らか, 毎日が楽しい, 充実
- 子どもの誕生を待ち望んでいる
- 子どものことで頭がいっぱい
- 不安
- 子どもを早く分離させたい。・とらわれの状況にある。

%	前	中	後	?
19.6	16.3	16.1	16.2	24.0
17.1	20.4	13.4	27.9	14.3
5.0	2.0	6.3	1.5	6.3
3.2	6.1	1.8	2.9	2.9
1.5	4.1	0	0	2.3

Item㉑ 私は将来

- Rej + Fail
- 仕事をしたい, 目的をもって生きたい, 自立したい
- 良い母親, 立派な母親になりたい, なれるかな
- 母としてより, 女として生きたい。

%	前	中	後	?
17.7	11.8	12.2	20.5	21.7
25.5	29.4	23.6	27.4	24.9
10.3	15.7	17.1	4.1	7.9

2) 女性性

Item㉒ もし私が男だったら

- Rej + Fail
- 仕事(仕事に生きる, バリバリ仕事をする 9.0)
- 自由に(もっと自由に生きる 5.3)
- 女でよい

%	前	中	後	?
10.8	9.8	4.1	9.6	16.0
23.4	29.4	29.3	19.2	19.7
13.6	5.9	13.8	15.1	14.4
13.1	9.8	12.2	13.7	13.8

- よい, いいなあ, すばらしい
- 結婚しなかった。• 私のような女とは結婚しなかっただろう。

Item⑱ 私は女性として

- Rej + Fail
- (1)満足, 幸せ, 妊娠に誇りをもっている, 充実
- 妊婦はとてすばらしい, 子どもを生むのはうれしい, よろこび, 楽しみ
- もっと〜になりたい(女性らしく, やさしく, かわいく, 完成, 充実, 若々しく, 魅力的)
- 平凡
- 未熟, 子どもっぽい
- 性格記述(わがまま, 甘えん坊, かたよっている, 欠点だらけ)
- 妊娠以外はよかった。• むいていない。• 自覚が余りない。• 早く出産, 育児を終らせたい。• 母親としての役割に不安。• 中途半端な人生。

Item⑳ 乳房

- Rej + Fail
- 母乳で育てたい, 母乳が出るかな, 母乳が出るかどうか心配
- 大きくなった, 重くなった
- 手入れをしなければ, マッサージをしている
- 赤ちゃんの大切なもの, 必要なもの
- 大きくなって, 母としての自覚が出てきた

Item㉑ 私の容姿は

- Rej + Fail
- 変化した, 太った, 大きくなった, 重くなった
- 元来の容姿(もともと, 背が高い, 小さい)
- ぶざま, みにくい, みられない

5. 母親自身の母子, 父子関係

Item㉒ 私は母と

- Rej + Fail
- 仲が良い, 気があう
- 似ている(性格 11.8, 身体 3.0, 両方 3.0)
- 友だちみたい
- 話をしない, 縁がない
- 仲が悪い
- 似ていていやになる。• 距離をもつようにしている。

Item㉓ 私は父と

- Rej + Fail
- 話をしない
- 仲が良い
- 似ている
- 仲が悪い, 気があわない
- 縁がうすい, ない

5.8	7.8	4.9	6.8	5.3
妊 娠 期				
%	前	中	後	?
12.7	10.2	9.7	12.7	14.9
20.2	26.5	20.2	28.2	15.4
6.0	2.0	1.6	12.7	9.6
10.2	22.4	7.3	7.0	10.1
5.3	4.1	6.5	2.8	5.9
5.1	6.1	4.8	4.2	5.3
5.1	6.1	8.9	2.8	3.2

%	前	中	後	?
15.8	17.3	10.6	18.1	18.2
19.9	13.5	20.3	18.1	20.5
19.1	19.2	23.6	20.8	15.3
11.1	1.9	12.2	9.7	4.5
2.4	3.8	3.3	0	2.3
2.1	5.8	2.4	1.4	1.1
%	前	中	後	?
14.7	21.2	10.6	8.3	18.1
29.5	36.5	28.5	34.7	26.1
17.1	11.5	17.9	12.5	19.7
6.5	3.8	6.5	8.3	6.4

妊 娠 期				
%	前	中	後	?
8.6	7.7	7.3	2.8	9.1
33.2	25.0	35.5	33.8	33.3
14.8	11.5	20.2	15.5	11.3
6.1	11.5	4.8	5.6	5.4
3.5	1.9	4.0	4.2	3.2
2.8	3.8	2.4	0	3.8

妊 娠 期				
%	前	中	後	?
23.5	23.6	21.1	21.9	25.8
12.6	3.6	16.3	15.1	10.7
11.4	14.5	12.2	13.7	9.0
11.0	14.5	9.8	8.2	11.8
2.8	3.6	1.6	2.7	3.4
2.6	0	4.1	2.7	2.2

- 性格が似ているので不満。• 礼儀正しくつき合っている。

Item⑦ 母に甘えたことは

- Rej + Fail
- ある, よくある, いつも
- ない, なかった, おぼえてない
- あった, 子どものとき, よい思い出, なつかしい
- 小さい頃より最近になってから, 結婚してから
- これからもずっと, 今までなかったからこれから
- 甘える余裕がなかった, みつめるだけで精一杯で。• 余りいってはいけない。• ない, こわい母親だったから。• 事直な形ではなかった。

%	前	中	後	?
17.8	16.4	10.9	16.9	23.5
22.3	29.1	24.4	25.4	19.8
21.1	12.7	21.8	25.4	21.4
7.0	3.6	3.4	8.5	9.6
3.9	0	5.0	4.2	4.3
3.7	5.5	3.4	2.8	3.7

Item⑭ 困ったとき, 病気の時, 私は

- Rej + Fail
- 夫に相談する
- 両親, 実家, 母
- うろたえる, 心配する, め入る, 心細くなる, 弱気になる
- 自分で考える, 判断する, 解決する
- 夫, 両親, 実家, 母
- 病院, 医者
- 耐える, 頑張る, くよくよしない
- 乳のみ子をかかえながら, やっていけるのかと思う。• しっかり子どもをみていけるだろうか。

%	前	中	後	?
13.8	13.5	8.1	14.3	17.5
26.5	30.8	34.1	26.0	20.6
17.9	21.2	19.5	18.2	15.9
7.3	7.7	5.7	6.5	8.5
5.7	5.8	4.1	5.2	6.9
3.9	3.8	5.7	7.8	1.1
3.9	1.9	1.6	3.9	5.8
3.6	0	3.3	5.2	4.2

6. 母親自身の両親像

Item⑳ 母は

- Rej + Fail
- 出産を楽しみにしている
- 心配してくれている
- 良き相談相手, 頼りになる
- 出産の準備をしてくれる。
- やさしい
- 尊敬できる人
- 今だに私を子ども扱いにする。• 自分の人生を大切にしてください。• 私を全然心配してくれない。
- 私の妊娠を知らない。

妊 娠 期				
%	前	中	後	?
18.6	16.4	15.3	17.9	21.6
18.3	23.6	18.5	20.9	16.3
16.7	14.5	19.4	11.9	17.4
6.4	7.3	6.5	9.0	5.3
4.4	5.5	5.6	6.0	2.6
2.3	3.6	1.6	4.5	1.6
2.1	1.8	2.4	3.0	1.6

Item㉑ 父は

- Rej + Fail
- 孫を楽しみにしている (妊娠ときいてよろこんだ)
- やさしい, 甘い, やさしかった, かわいがってくれた
- 離別, 死別
- 性格 (やさしい, 厳格, 無口, 行動力がある⊕⊖)
- 性格 (まじめ, あったかい, のんびり⊕)
- 性格 (頼りない, わからない⊖)
- 理想, 尊敬, 大黒柱
- 私のことを心配してくれる
- 話をしない, 関心がない。• 出産に無関心。

%	前	中	後	?
11.0	5.8	10.6	15.3	10.9
17.3	23.1	21.1	9.7	16.1
12.1	7.7	13.0	16.7	10.9
6.8	9.6	7.3	2.8	7.3
5.3	1.9	3.3	6.9	6.8
2.7	1.9	1.6	2.8	3.6
2.1	1.9	1.6	4.2	1.6
4.6	3.8	3.3	9.7	3.6
3.9	7.7	0.8	5.6	4.2

Item⑳ 父と母は

- Rej + Fail
- 仲が良い, うらやましい夫婦, よい夫婦
- 孫を楽しみにしている
- 理想的な夫婦, 尊敬できる
- 仲が悪い, けんかばかりしている
- 私より神経質になっている
- 私からみて根本の理解がなかったと思う。• 無関係。• 妊娠を知らない。• 過去の人です。

%	前	中	後	?
15.4	21.1	10.7	12.1	17.9
15.2	9.6	18.2	22.7	12.0
13.0	15.4	15.7	12.1	10.9
6.9	9.6	9.1	4.5	5.4
2.6	1.9	2.5	6.1	1.6
2.6	7.7	4.1	3.0	0

7. 母親ときょうだい

Item㉑ 私のきょうだいは

- Rej + Fail
- ~人である
- 仲が良い

%	前	中	後	?
4.1	3.8	2.5	4.1	5.3
56.1	57.7	65.3	57.5	49.2
10.8	7.7	7.4	8.2	14.8

8. 母親と友人

Item㉒ 友人は

- Rej + Fail
- 妊娠をよるこんでくれた, 楽しみにしてくれている
- 多い

%	前	中	後	?
13.4	9.8	10.6	11.1	17.0
20.0	17.6	21.1	20.8	19.7
10.8	7.8	13.0	15.3	8.5

考 察

対象がマタニティスクール受講生であり、標本に偏りがあると考えられ、従って本データを標準的なものとすることはできないが、おおよその傾向として捉え、若干の考察を加えることにしたい。

1) 母親と胎児との関係

①妊娠期の母子関係：④妊娠を喜びの情緒と共に受容する人が多い一方、とまどい、ショック、不安をもつ人もかなりおり、妊娠過程の中でポジティブな方向に変化するものか、これらが出生後の母子関係にどのような効果を与えるのか、或は臨床的な働きかけによる援助が必要なのか、今後の検討を要する。

⑥身体の変化に伴って、胎児の存在感や母親としての実感、自覚が出てくる傾向があり、胎動の項目をいれて確かめたい。

③やさしくなる一怒りっぽくなる等情緒の変化が生ずることが興味深く、臨床との対応が考えられる。

④出産への怖れ、不安が多く、教育的な働きかけが十分行なわれること、嫌悪感をもつ等には心理面接が必要となることがあろう。

⑤胎児の無事を祈ると共に、よく話しかける、愛情を感じ、母子関係の様相がうかがえる。

② 将来の母子関係：④絞切型の反応が多くみられ、それだけに特異反応に注目したい。

⑥子どもが泣きやまないと、の項目には不安、いらいら、どうしていいかわからない等、ネガティブな情緒反応がいかに多いかが示されている。哺乳困難と同様、早期の母子関係に影響を与えるので乳児期の泣きをめぐって母親へのサポートの必要があると考えられる。

2) 父親と胎児との関係

⑥殆んどの方は、妊娠を喜んで受けとめている。これは母親の観察によるもので、この高率通りかは疑問であるが、それだけにとまどったり、関心なしといった反応は母親にネガティブな影響を与え、ひいては母子関係にも効果を及ぼすことが考えられ、今後検討したい。

⑥母親とほぼ同率で話しかけ、愛情を感じており、出生後のPaternal behaviorとの関連で興味深い。

3) 夫婦関係

④結婚年数を考慮せねばならぬが、ポジティブ

ぶな関係が圧倒的であるだけに、ネガティブな特異反応、親になることの不安、気が合わない、自覚のなさ、等は注目され、母子関係への夫との関係が与える効果の点から今後検討を加えたい。

4) 母親自身

① 過去、現在、将来及び情緒状態

②子どもの頃、では外向、内向の両極に分れるが、特におとなしい、手がかからない、成熟拒否等の反応は臨床上注目される。

③情緒状態では自己嫌悪、未熟さ、相談できる人が身近にいず困る等の反応には心理面接等の働きかけが必要かもしれない。

④現在の状態では不安や、子どもを早く分離したいという異物感を伴うとも思われる反応に注目される。

⑤将来について、Item⑧と合せ母親としてだけでなく仕事や自立の方向が、高率を示している。

⑥女性性：②積極的に女であることを認めるものが19%であり、この率が高いのか低いのか、変化しているのか不明であるが、伝統的な女性概念の変容がもしあるとすれば、母子関係との関連を調べることは意味のあることと考える。

⑦身体性の面では、その変化が不様、みにくい等の反応と妊娠や胎児へのネガティブさとは関連がない。

⑧妊娠が女としての存在証明になっている傾向がみられる。

⑨女として未熟、子どもっぽい、向いていない、妊娠以外はよい等の特異反応と母子関係の形成発達との関連も今後の課題である。

5) 母親自身の母子・父子関係

⑩両関係を比較すると全体的には母子関係の方がポジティブな傾向を圧倒的に示すにもかかわらず、特異反応ではネガティブなものが母子関係にあり、又甘えたことがないが21%もあり、母子関係の複雑さ、奥深さを思わせる。尚、仲が悪い、きらい等明確に意識されているものは所見上問題が少ない傾向を示し、余り話をしない。縁が薄い、距離をもつ等の反応が臨床上問題となると思われる。

⑪Item34は、いわゆるアタッチメント行動をね

らったもので、夫、母親に向うものが多い。ここでは、うろたえる、耐える等1人で頑張る人の方が心配である。

6) 母親のもつ両親像

母親に対しては出産をめぐる援助をしてくれる人として、父親像はやさしい等の性格像の記述が多く、2つの関係の働きが思えることを示唆している。

さて、母子・父子関係と赤ちゃんへの意識、心的態度との関連を事例的にみると次のようである。私は母と余り縁がなく、母に甘えたことはなくはないが、素直な形ではなかった。母はの項目は反応なく、そして困ったときや病気になったときうろたえてしまう。

父は無口であり、私は父と人間としてもっとつきあいたかった。父と母は根本の理解がなかったと思う。

はじめて妊娠に気づいたとき私はとまどい、おなかが大きくなると動作が鈍くなる。しかし妊娠して私がかわったのは以前より緊張感が少なくなったことである。おなかの赤ちゃんに対してまだ余り実感がわかず、出産はこわい。そして子どもが泣きやまないときずっとイライラしてしまうだろう。私は子どもと将来どんな母子関係になるか不安である。

自らの母子・父子関係と、子どもとの関係との関連については臨的に注目され、今後項目間の相互関係、追跡、事例研究を通して明らかにしていきたいと考える。

7)、8) 母親ときょうだい、友人の項目は紋切型の反応が殆んどでみるべきものはない。

なお、Rej(反応拒否)、Fail(失敗)もどの領域になるか等の分析は臨床上意味があり、例えば、母子・父子関係の項目全てがRejのものなど、今後の検討課題である。

本データを基礎に現在改訂をすすめており、また妊娠の夫用、乳児期の母親用の試作をし、妊娠期から出生後の母子関係の過程を知る補助手段として有効な道具となるよう研究をすすめたい。また、臨床心理検査として、妊娠期から分娩後の母親の精神状態を捉える補助手段として、臨床的有用性を検討していきたいと考える。

3. 乳児院退院児の家庭への適応

二 木 武
庄 司 順 一
帆 足 英 一
金 子 保

はじめに

乳児院に入院することは、子どもと家族とが分離することを意味する。そのような、乳児院に入院していた子どもが、退院して家庭へ帰ることができるようになったとき、子どもと家族は、互いに、新たな適応をすることが必要になる

ここでは、乳児院を退院した子どもが家庭へ適応するにあたって、どのくらいの期間を要するのか、また適応までの期間にはどのような要因が関連しているかを検討し、分離経験をもった場合の母子関係の形成について考察する。

方 法

対象は、母子保健院乳児院を昭和55年、56年に退院し、家庭へ復帰した児27名(男児15名、女児12名)である。この中には、里親委託児5名も含まれている。

これらの児に対し、原則として退院1~3カ月後に来院してもらい、親との面接を行なった。そして児の家庭への適応状況を知るとともに、必要な助言・指導を行なった。また、必要な場合には、その後も来院してもらい、来院回数は1~3回であった。

結果と考察

退院後、児はしばしば、泣き、夜中に目ざめるなど睡眠の問題、哺乳量や食欲の低下、笑わない、しゃべらない、緊張している、フロにはいるのをいやがる、母親を絶えず追い求める、父親になじまないなどの反応を示す。

ここでは、親との面接から、児がこれらの反応を示さなくなり、また親自身も、子どもが家庭になれたとする時期をもって、一応、児が家庭に適応したとみなした。

家庭に適応するまでの期間は、児によって異なっており、退院当日から家庭になじんだというものから、2~3カ月以上かかったものまでいた。(表1)

次に、家庭に適応するまでの期間に関連すると思われる要因として、性別、入院時の年齢、退院時の年齢、在院期間等について検討した。

性別と入院時の年齢は、家庭に適応するまでの期間に影響を与えないように思われた。

退院時の年齢と在院期間は、家庭に適応するまでの期間に影響するようであり、退院時の年齢が小さく、在院期間が短いほど、適応するまでの期間も短い傾向がみられた(表2、表3)。

次に、入院中の児と家族との結びつきを維持するもっとも有効な方法である家族の面会状況との関連を検討した。やはり、面会頻度が高いほど、家庭への適応も速い傾向がみられた(表4)。

これらのことは、入院前の状況よりも、入院中あるいは退院後の児への取り扱いの影響が大きいことを示していると考えられる。

次に、家族の側の、児に対する適応については、入院期間が比較的短かく、面会が定期的であった場合には、とくに問題はないように思われる。しかし、継母や里親の場合には、児になれるまである程度の期間を要するようである。また、例えば退院1カ月後に、児が熱を出し、そのとき子どもに対して「切っても切れない感情がわいた」という例のように、比較的是っきりとした契機が、子どもへの結びつきに影響したと思われることもあった。

今後、例数を増すとともに、行動観察も含め、種々の面からさらに検討を加えたいと思う。

表1 家庭に適応するまでの期間

A	退院当日から	6	} 9
B	1～6日	3	
C	1～2週	7	} 10
D	3～4週	3	
E	1カ月～2カ月未満	3	} 8
F	2カ月以上	5	

表2 退院時の年齢と家庭になれるまでの期間

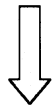
退院時の年齢 \ 期間	A B	C D	E F
0～5カ月	4	1	0
6～11カ月	1	2	0
1才	3	4	3
2才～	1	3	5

表3 在院期間と家庭になれるまでの期間

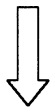
在院期間 \ 期間	A B	C D	E F
0～5カ月	7	2	2
6～11カ月	0	3	0
1年	1	5	3
2年～	1	0	3

表4 面会頻度と家庭になれるまでの期間

面会頻度 \ 期間	A B	C D	E F
月1回未満	1	0	2
月1回～月4回未満	1	3	3
月4回以上	4	1	1



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

著者らは、前回、乳児の保育者に対する追視行動を、乳児と保育者のアタッチメントの形成という観点から検討した。

今回は、追視行動の基本となる乳児の他者への凝視と、また、凝視と表裏の関係にある目をそらすという行動について実験的に観察し、これらの行動が乳児の認知の発達や母子関係の形成に果たす機能について考察した。